

令和6年度 第三回 芳川小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 2024年10月21日(火) 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 芳川小学校 CSルーム
- 3 出席委員 佐藤祐輔、鈴木幸彦、犬居和賀代、林容子、間宮年弘、鈴木麻里
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 古橋一哲(南陽協働センター)
- 6 学校支援コーディネーター 前島杏里
- 7 学校 澤田正樹(校長)、大石智香子(教頭)、内田由佳(CSディレクター)
- 8 教育委員会 鈴木陽子(教育総務課)
- 9 傍聴者 なし
- 10 会議録作成者 CSディレクター 内田由佳
- 11 議長の選出

司会の大石から、議長の選出について委員に求めたところ、林容子委員が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

12 協議事項

- (1) 雨天時の車による送迎についてのアンケート結果について
- (2) その他

13 会議記録

司会の大石から、委員総数6人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

会長挨拶…前回はよい熟議ができた。

校長との研修で学校の運営について、次期委員についても考えていく。

校長挨拶…①CSルームにはボランティアも来る。「みんなが来る部屋」がコンセプト。鈴木道夫の部屋でもある。スズキのバイクも2台、観覧用に設置することになった。

②河輪小と東陽中に知的障害の発達学級が来年度から増設される。9月中旬に聞いた。本校発達学級の6年生は全員南陽中に進学予定だったため、説明会にも参加している。学区制の通りになったので、保護者にはすぐに伝えた。制服の予約もすませるなど、急な要請で混乱をきたした。市教委は今まで9月に決定したが、市教委から担当者が来校し保護者に個別対応することとなった。

③あいさつ。「元気な挨拶ニコニコスマイル」みんながにこにこスマイルになるにはどうしたらよいか。現状としては停滞気味で、「マンネリ化」していると感じる。さまざまな意見が寄せられ学校だよりも掲載している。中学生からの作文や保護者からの文。共通して「はずかしい」、「苦手」、「事情があってできなかったが、大事である」、などの意見があった。挨拶そのものを求めすぎてはいけない。声をかけ続けることが大事。子どもたちへのアンケートをとるので後日報告する予定でいる。

(1)雨天時の車により送迎についてのアンケート

・反響に驚いた。すぐできること、できないことの見解や送迎とは別のこと(班の在り方など)実情がよくわかった。この意見を公表したほうが良いと思うが、どのようにするか。ごく一部が送迎しているのではないか。今後送迎を増やさないためにもアンケート結果を公表することに意味がある。できることはすぐ試用したい。案としてロータリーを少し変える。松の周りではなく、長い距離のロータリー(大回り)にする(会長)

・芳川北小のロータリーはうまくいっている。短期的には、できるだけ歩いてくることを推奨。許可証を発行。送迎車はそれで減る。保護者にも考えてもらう良い機会となる(間宮委員)

・辛辣な意見より、温かい意見が多くあるという印象。先ほどのロータリーの案の一段階手前として、この場の熟議を知ってもらいたい。台数を減らすために許可証と、「こういう理由で今日は送りました」という旨の提出用紙を作成するなど。集団登校に関わる不都合も対策しなければならない。地道で優しい発信を協議会からしていきたい(麻里委員)

・どの程度の回答数があったのかを知りたい。登校班でも上級生がいないところがある。数としては4つか、5つの班が該当するのでは。結論は段階を経て、出していくのがよい(幸彦委員)

・アンケートを取った以上は結果の報告は必要。サマリーを報告。拙速に対策をうち出すのではなく、もっと熟議を重ねた方がよい。「基本は徒歩ですよ」と、うたっていくのが大事ではないか。(犬居委員)

・思った以上に送迎に対して抑制的だという印象がある。間宮さんに近い。徐々に申請方式にしていき、内容を具体的に詰めていくのが大事。集団登校で連絡しあって乗り合わせのケースが記載されていたが、それに伴う危険についてはどうか。長文で書いてくださった方の意見は印象的であった。(林委員)

・グループラインの在り方について。班が5, 6人でも内訳としては3世帯か2世帯のところは10人にするなど、工夫できないか。判断も各家庭にゆだねさせてほしいとの意見があった。新1年生は説明会で現状を知ってもらう必要がある(会長)

・5, 6年生がいない班もある。グループの適正な数はあるのでは?(麻里委員)

・昇降口を早く開けてほしい、という意見について。物理的なものを広げられなければ、時間帯を広げるとはどうか。下校もひどい状況。私設の放課後デイサービスがロータリーに停車していて、駐車場に駐車するように言った方がよい。同時刻下校もずらすことができないか(会長)

・ボランティアが体育館で読み聞かせのようなことをして、早く来た子どもをみることはできないか。これは現実的ではないかもしれないが、課題が多すぎる(麻里委員、会長)

・事故が起きた時、ボランティアに責任をとってもらうことはできない(間宮委員)

・集団登校の在り方などもアンケート内にあった。抑制のために公表する。許可制にすることを視野に入れて熟議を重ねる旨も公表。この議事要旨を読んでいただく(林委員)

・集団登校の良し悪しがある。先頭の子だけが信号を見て、危険を察知している。2番目の子からは漫然とついて言っているため、安全な登校の能力が身につかない。3学期は集団登校なし、などの工夫も意識づけになる。試し期間があっているのではないか(間宮委員)

・集団登校を廃止するという意見が以前にあったが、旗振りを増やす必要があるとの意見がでると、反対派が増えたので断念した経緯がある(麻里委員)

・他校では集団登校を停止する期間がある。新学期の最初だけ、6年生が新1年生に付き添って登校するところもある(間宮、会長)

・登校班を廃止にすると下校で問題が生じる。1年生ではなく、2年生でも道に迷っている(幸彦委員)

・登校していない子には、学校から連絡がいくことを知らない親がいるのでは。それで学校まで送ってくるのでは?(会長)

・入学説明会やクラスでも子どもたちに先生から話してもらうことも必要(林委員)

- ・下校時間はずらせないのか。雨の日に限り(佐藤)
- ・時間を決めると、却って送迎してもよいのだと思う人が増えるのでは(犬居委員、林委員)
- ・下校は晴れていても混むがなぜなのか?(麻里委員)
- ・スクールゾーンがあるから一方通行の案は無理である(佐藤)
- ・下校時は小運動場に駐車できないのか?(佐藤)
- 子どもたちと動線が混同するのは危険ではないか(犬居委員)
- ・来年度から送迎用の駐車場を設置する必要があるのでは?(会長)
- ・下校は歩いて迎えに来てもいいのでは(間宮)
- ・巨大地震のような災害時に車で迎えに、となるのでは?(間宮)
- 緊急時には運動場に駐車場を設置する(学校)
- 子どもの動線がない設定なので、災害時限定である(学校)
- ・粘り強く基本は徒歩、と伝える。担任から子どもにもはたらきかける(林委員)
- ・かっぱ置き場はあるのか(間宮)
- 設けている(学校)
- 4月の新学期最初の雨の日には、昇降口でかっぱ置き場への誘導や、混雑解消のために新1年生対応のボランティアがくるといい(麻里委員)
- ・アンケートの結果の公表の中に、吹き出しを使って掲載するのもよい。最終ページの方の意見など、子どもの成長につながらないか?(犬居委員)
- ・原文のままのせるのがよいのでは(会長)
- ・この会議でよい意見があったのを紹介するのはよいのでは(林、犬居)
- ・回答者の数字を掲載する(全員)
- ・冠水時のルールは必要では?(林)
- ルールはないが、職員が立つ。(学校)
- 旗振りの人が子どもたちをとめて、安全な道へ誘導するのがいいのでは?また、推奨ルートを示したら親子が安心するのでは?(会長)
- ・まとめを作成するのはどうするか(林委員)
- ・抜粋するのか、要約にするのか(犬居)
- ・全部バージョンと抜粋バージョンをのせられるか(麻里委員)
- ・第1弾2弾・・・で出したらどうか?(会長)
- ・個人を特定できるのは工夫して掲載する(麻里委員)
- ・数回に分けて伝えるとよい(林委員)
- ・協議会と学校でまとめる(麻里)

(2)その他

- ・ハロウインのあいさつ運動は今年はあるのか。仮装をやりたい。また、2月26日がピンクシャツデー。あいさつ運動もピンクシャツでやりたい(会長)
- ・ハロウインのあいさつ運動は10月29日～31日かどうか(麻里、会長)
- ・クリスマスのあいさつ運動は12月23日に行うのはどうか。(麻里、会長)
- ピンクシャツデーの意味は周知のために発信してもよいのでは(学校)
- ・学校からピンクシャツデーについて発信してくれるとうれしい(会長)

熟議おわり

14 報告

・ほうがわクスノキ応援団からの報告(学校支援コーディネーター前島さんより)

信頼関係ができてきた実感

5年の家庭科ボランティアの依頼が来るようになってきた

1-2年からのボランティア依頼も増えるとよい。

草取りもやってくれている。側溝の土まで自発的にやってくれる。

草取り中に、子どもたちから「ありがとう」の声をかけてくれる。

保護者には活動を知らない方もまだいる。

音楽会のボランティアにもメリットがあるとうれしいし、募集しやすい。

・協働センターから

原文のままでのせる。個人の特定を避ける。黒塗り等で対応。

基本、徒歩と許可制で対応していくのが望ましいのでは。

学校と職員側には限界がある。保護者には効果的にアンケートを公表するのがよい。

15 連絡

司会から、次回会議は、2025年2月26日(水)午前10:00から CS ルームで開催する旨の連絡があった。

次回議長は間宮委員が務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。